

性器クラミジア感染症



クラミジア感染症とは

- 世界で最も多くみられる性感染症です。
- 男性では尿道炎，女性では子宮頸管炎などの症状がみられますが，無症状のことも多く，不妊や出産児への感染につながることもあります。
- 潜伏期間は1～3週間と言われていますが，女性は自覚症状が出ないことも多いので，検査を受けなければ分からないことが多いようです。
- クラミジア感染者は非感染者に比べるとHIVに感染しやすいことがわかっています。



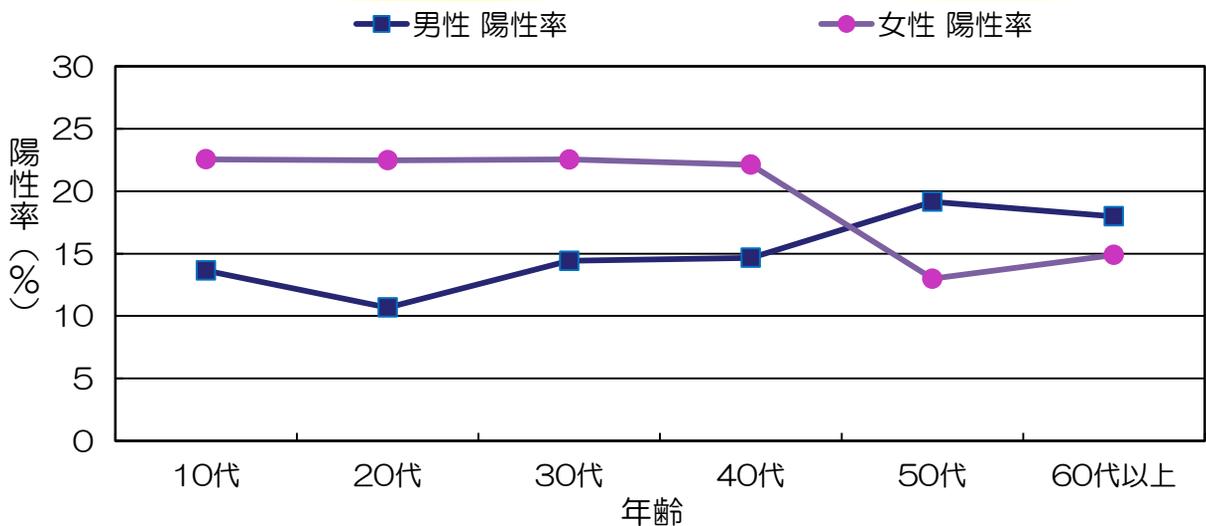
病原体と感染経路

- 性器クラミジア感染症の病原体はクラミジア・トラコマティスです。
- 主に，性的接触により感染します。
- HIV感染予防と同じように，不特定多数の相手との性的接触を避け，コンドームの使用を心がける必要があります。



福岡市の性器クラミジア感染症発生状況

(H23.4～H28.3 当研究所検査)



- 検査数は 7,867名で内1,360名が陽性でした。
- 全体の陽性率は17%(男性14%，女性22%)で，女性の陽性率が高い結果となりました。
- 10代から40代の女性の陽性率は20%を超えており，生殖年齢にある女性への感染の拡大等が懸念されます。

福岡市では，性感染症対策として，平成13年6月から，各区の保健福祉センターで，**無料・匿名**でのクラミジア抗体検査を受け付け，当研究所で検査を実施しています。